

第6回赤磐市まちづくり審議会 委員意見(要旨)

開催日時:平成27年8月27日(木)10時~12時

開催場所:赤磐市役所2階第1会議室

委員意見	
1	赤磐市市民憲章の前にあった説明文が削除されているが、住民自治のことなどにも触れていたの で、元に戻してほしい。
2	赤磐市出身者のネットワーク組織を構築するということだが、何か基盤があるのか。赤磐市出身者 ということだと分母が少ないので立ち上げて活用されるのか疑問。
3	クラウドソーシングでは稼げないのでやっても意味がない。その前になぜ家を空けられないのかを 考えてほしい。たとえば、子どもを預けられる所がないといったことも考えられるが、そのような施策 に比べてクラウドソーシングが優先されたのはなぜか。
4	全体を通して、「住民でできることは住民で」と突き放された感じをうける。
5	総合計画の中身をどこまでやったのかというチェック体制について、どこが責任を持ってチェックし ていくのかという組織体制を検討しておかないといけないのではないか。
6	54ページ、「市民が主役～」とあるのは、「市民が主体～」のほうが良い。
7	46ページの「小中学校の学習環境の整備」、「小中学校教育の充実(確かな学力の定着)」は、小 中学校だけではなく幼稚園も含むので、「小中学校の」は削除すべき。
8	46ページの「学習環境の整備」の中で、教育環境の適正化、学校規模、幼稚園規模の方針をそろ そろ示したほうが良いのではないか。 「ゆくゆく子どもが一人になっても、そこに学校は残して、整備をしながら取り組んでいきます」という 風なことを打ち出す時期ではないか。
9	47ページの「保幼小連携の推進」に、中(中学校)も加えてほしい。 高陽学区は、小中連携で小学校関係者、中学校関係者等により高陽元気プロジェクトというものを 立ち上げており、その中で、小中一貫校的な発想の教育を進めて行こうということで、中学校の教諭 が小学校に出向いて英語の授業をする、小学校の教諭が中学校に出向いて卒業生の補助をする等 ということをしている。
10	子どもの権利の尊重という視点を盛り込んでいただきたい。 42ページの「概要」の「地域の子どもは地域で守り育てる」のあたりに、「子どもの権利を認めると か、個性を受容する」といったことを盛り込んでいただきたい。 47ページの「特別支援教育の充実」のところに、子どもの人権を尊重するための地域、環境整備を いうことを盛り込んでいただきたい。
11	人口流出をとめる最後の歯止め、高齢者が自立して生きていけるまちの答えはコンパクトシティに ある。総合計画の中にははっきり書いていないが、このことを指摘しておく。

委員意見	
12	<p>子どもの貧困について、この問題は子どもの権利と個別の福祉のことだけではなく、子どもの貧困が放置されて学習環境が整わないまま時代が過ぎてしまい、将来子どもが勤労者納税者にならなければ、納税者がいなくなるという事態を引き起こす。働かなくてもいい、人の世話になればいいという人生の取り組み態度を持った集団が増大する。このことの懸念をもっと共有しておきたい。子どもの貧困を放置すればどうなるかということを非常に深刻な問題として訴えておく。</p>
13	<p>協働で成功した事例では、必ず行政の職員がその市民活動に対して自分の余暇を利用して自腹を切ってやってきている。 市民は、本業で稼いだお金や時間を出して協働の活動をしている。行政の人は給料をもらえる時間内でしかそこに参画しない。</p>
14	<p>総合計画の内容を実際に行うにあたって、市長以下行政の方がよっぽど腹をくくってやらなければ難しいと思う。ぜひ市長の強力なリーダーシップで職員の方にも汗をかいていただきたい。</p>
15	<p>内容は良く書けているが、市民向けや県外向けなど、外向けにPRするとき、キャッチフレーズ、例えば、「子育てするなら赤磐市」とか、「高齢者の笑顔輝く」とかそれぞれの事業のところで何か訴え方というものを工夫していただけたらと思う。</p>
16	<p>無理に住宅価格の高い岡山市に住まなくても赤磐市に住めば十分じゃないかという風なトータルプラン、その辺を赤磐市民の方にも外の方にも訴えていけるような魅力あるものをつくっていただきたい。例えば、「結婚するときは給料も安いので、赤磐市なら安い住宅がある」、「岡山市のベッドタウンとして、夫は岡山市に通勤、妻は市内で多様な働き方ができる」、「近所には保育所も充実している」、「近所の助け合いシステムもある」、「年になれば、例えば近所の助け合いクラブの方が病院に行くにも500円で送り迎えしてくれる」など。</p>
17	<p>移動販売に赤磐市も取り組んでいただけてありがたいと思うが、加えてもうひとつ農産物直売所の活用についても、新しい展開を考えたほうが良いのではないかと。 農産物直売所に車で高齢者を連れてきてあげて、そこでコミュニケーションができるようにすると良いかと思う。</p>